

平成 18 年 度

2 級造園施工管理技術検定

学 科 試 験 問 題

次の注意をよく読んでから始めてください。

〔注 意〕

1. これは学科試験の問題です。表紙とも 12 枚、50 問題あります。
2. 解答用紙（マークシート）には間違いのないように、試験地、氏名、受験番号を記入するとともに受験番号の数字をぬりつぶしてください。
3. 問題はすべて必須ですから、50 問題全部を解答してください。
4. 解答は、解答用紙（マークシート）に HB の鉛筆又は芯が HB のシャープペンシルで記入してください。

解答用紙は	問題番号	解答記入欄				となっていますから、
	問題 1	①	②	③	④	
	問題 2	①	②	③	④	
	問題 10	①	②	③	④	

当該問題番号の解答記入欄の正解と思う数字を一つぬりつぶしてください。

解答のぬりつぶし方は、解答用紙のぬりつぶし例を参照してください。

なお、正解は 1 問について一つしかないので、二つ以上ぬりつぶすと正解としません。

5. 解答を訂正する場合は、プラスチック消ゴムできれいに消してから訂正してください。

消し方が不十分な場合は、二つ以上解答したこととなり正解としません。

6. この問題用紙の余白は、計算等に使用してもさしつかえありません。

ただし、解答用紙（マークシート）は計算等に使用しないでください。

7. 解答用紙（マークシート）は、必ず係員に渡してください。持ち帰りは厳禁です。

8. この試験問題は、試験終了時刻（13 時 00 分）まで在席した方のうち、希望者に限り、持ち帰りを認めます。

途中退席した場合は、持ち帰ることはできません。

※ 問題はすべて必須ですから、50 問題全部を解答してください。

〔問題 1〕 日本庭園に関する次の記述の (A)、(B) に当てはまる語句の組合せとして、**適当なもの**はどれか。

「(A) 庭園は、平安時代に発達した庭園様式で、代表的な庭園の一つとして (B) がある。」

- | (A) | (B) |
|----------|----------|
| (1) 浄土式 | 仙洞御所庭園 |
| (2) 浄土式 | 平等院庭園 |
| (3) 枯山水式 | 大徳寺大仙院庭園 |
| (4) 枯山水式 | 無鄰庵庭園 |

〔問題 2〕 土性に関する次の記述の (A)、(B) に当てはまる語句の組合せとして、**適当なもの**はどれか。

「土性とは、砂、(A) 及び (B) の割合を示したものであり、土壌の物理的性質は土性によるところが大きい。」

- | (A) | (B) |
|---------|-----|
| (1) シルト | 腐植 |
| (2) シルト | 粘土 |
| (3) 礫 | 腐植 |
| (4) 礫 | 粘土 |

〔問題 3〕 次の（イ）～（ニ）のうち、腐植の効用に関する記述として、**適当なものの個数**はどれか。

- （イ） 土壌水分の保持力を高める。
- （ロ） 土壌養分の保持力を高める。
- （ハ） 土壌の団粒構造の形成を促進する。
- （ニ） 土壌中の微生物の活動を促進する。

- （1） 1 個
- （2） 2 個
- （3） 3 個
- （4） 4 個

〔問題 4〕 土壌 pH に関する次の記述の正誤の組合せとして、**適当なもの**はどれか。

- （イ） 一般に雨の多いわが国では、土壌はアルカリ性になりやすいので、植物の性質によっては塩化カリウム等により中和する必要がある。
- （ロ） pHは数値が小さくなるほど酸性が強くなり、わが国では、植物は一般にpH6.0～6.5程度の弱酸性土壌を好むものが多い。

- | | （イ） | （ロ） |
|-----|-----|-----|
| （1） | 正 | 正 |
| （2） | 正 | 誤 |
| （3） | 誤 | 正 |
| （4） | 誤 | 誤 |

〔問題 5〕 次の記述の病状を示す樹木の病名として、**適当なもの**はどれか。

「一般に葉の表面、裏面または表裏両面が粉状のカビに白く覆われる。」

- （1） 白も病
- （2） 白紋羽病
- （3） すず病
- （4） うどんこ病

〔問題 6〕 次の記述の特徴を示す害虫として、**適当なもの**はどれか。

「幼虫は植物の根や葉，成虫は葉を食害する。サンゴジュなどで大発生し大きな被害をもたらす。」

- (1) カイガラムシ類
- (2) ハムシ類
- (3) アブラムシ類
- (4) ハダニ類

〔問題 7〕 造園樹木のうち生垣に用いられる樹種として、**適当でないもの**はどれか。

- (1) イヌツゲ，サンゴジュ
- (2) ネズミモチ，マサキ
- (3) ウバメガシ，サザンカ
- (4) イヌマキ，ヤマボウシ

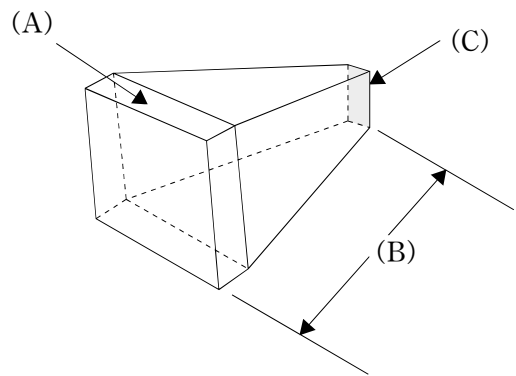
〔問題 8〕 花壇に用いられる一年草の植物の組合せとして、**適当なもの**はどれか。

- (1) 春花壇 —— シバザクラ，ナデシコ
- (2) 夏花壇 —— ヒャクニチソウ，ホウセンカ
- (3) 秋花壇 —— キキョウ，ヒナゲシ
- (4) 冬花壇 —— ゼラニウム，ハボタン

〔問題 9〕 造園樹木のうち防火力の優れた樹種として、**適当なもの**はどれか。

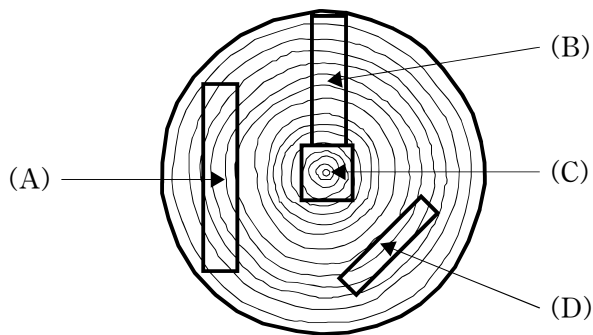
- (1) サンゴジュ
- (2) エノキ
- (3) カツラ
- (4) カイズカイブキ

〔問題 10〕 下図に示す間知石の（A）～（C）の名称の組合せとして、**適当なもの**はどれか。



- | | (A) | (B) | (C) |
|-----|-----|-----|-----|
| (1) | 天端 | 控え | 小端 |
| (2) | 天端 | 見付き | 小端 |
| (3) | 合端 | 見付き | とも面 |
| (4) | 合端 | 控え | とも面 |

〔問題 11〕 下図に示す丸太の断面の（A）～（D）のうち、収縮，ねじれ，割れが最も少ない「まさ目材」が得られる木取りとして、**適当なもの**はどれか。



- (1) (A)
- (2) (B)
- (3) (C)
- (4) (D)

〔問題 12〕 根回しに関する次の記述の（A）～（C）に当てはまる語句の組合せとして、**適当なもの**はどれか。

「根回しの時期は、一般に（ A ）に行うのが最もよい。根回しの方法のうち、断根式は根巻きを行うまでのことをせず、ただ（ B ）を切り回すだけの方法であり、一般に比較的（ C ）の樹種に用いられることが多い。」

- | | （A） | | （B） | | （C） |
|-----|-------|----|-----|----|-----|
| (1) | 春期萌芽前 | —— | 直根 | —— | 深根性 |
| (2) | 秋期落葉前 | —— | 側根 | —— | 浅根性 |
| (3) | 春期萌芽前 | —— | 側根 | —— | 浅根性 |
| (4) | 秋期落葉前 | —— | 直根 | —— | 深根性 |

〔問題 13〕 造園樹木の掘取り及び運搬に関する記述のうち、**適当なもの**はどれか。

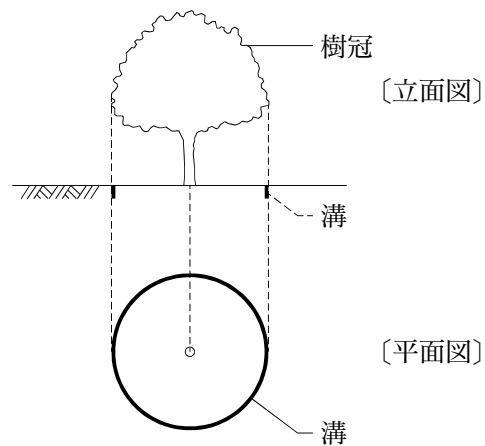
- (1) 根に密着していない土は分離脱落しやすいので、根に密着している土の範囲を鉢とする。
- (2) 掘り上げた樹木は樹勢の衰弱を防ぐため、根の切直しは避けるようにする。
- (3) 「振り」とは、太い根を切らずにその先端までたぐって掘り上げる方法である。
- (4) 「枝しおり」とは、移植樹木の運搬の際に支障となる枝をあらかじめ切り取っておく方法という。

〔問題 14〕 造園樹木における剪定の対象となる枝に関する記述のうち、**適当なもの**はどれか。

- (1) ひこばえは、主枝にからみついたような形になる枝で、樹形を乱す。
- (2) 幹ぶきは、根元又は根元に近い根から発生する枝で、樹勢を衰えさせる。
- (3) からみ枝は、樹種の性質に逆らって伸びる枝で、樹勢を衰えさせる。
- (4) 徒長枝は、通常の枝に比較して勢いよく伸びる枝で、樹形を乱す。

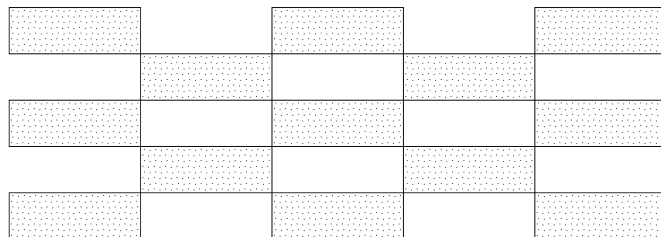
〔問題 15〕 高木の施肥に関する次の記述の（A）、（B）に当てはまる語句の組合せとして、最も適切なものはどれか。

「下図の溝の位置に施肥をする方法を（A）といい、一般に（B）として施す場合に用いられることが多い。」



- | | (A) | (B) |
|-----|-----|-----|
| (1) | 車肥 | 追肥 |
| (2) | 輪肥 | 元肥 |
| (3) | 輪肥 | 追肥 |
| (4) | 車肥 | 元肥 |

〔問題 16〕 下図に示す芝の植付け方法の名称として、適切なものはどれか。



- (1) 市松張り
- (2) 目地張り
- (3) 互の目張り
- (4) 筋張り

〔問題 17〕 造園樹木の支柱に関する記述のうち、**適当なもの**はどれか。

- (1) 添え柱支柱は、丸太か竹により傾斜した幹や横架した大枝を下から支える。
- (2) ハツ掛支柱は、3，4本の丸太等で幹の比較的高い位置で樹木を支える。
- (3) ワイヤー張り支柱は、根鉢周囲にアンカーを打ち込み、ワイヤーで根鉢を固定して支える。
- (4) 鳥居型支柱は、丸太か竹を幹に添えて地中に十分差し込んで樹木を支える。

〔問題 18〕 次の(イ)～(ニ)のうち、「建設機械」とその「施工用途」に関する組合せとして、**適当なものの個数**はどれか。

(建設機械)	(施工用途)
(イ) モータグレーダ	敷きならし
(ロ) 振動ローラ	締固め
(ハ) ブルドーザ	敷きならし
(ニ) タンパ	締固め

- (1) 1個
- (2) 2個
- (3) 3個
- (4) 4個

〔問題 19〕 園路のアスファルト舗装に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 基層を設ける場合は、通常、加熱アスファルト混合物を用いる。
- (2) 敷きならし中に雨が降り始めた場合は、作業を中止するとともに、敷きならした混合物はすみやかに締め固めて仕上げる。
- (3) 継目を施工する場合は、原則として下層の継目の上に上層の継目を重ねないようにする。
- (4) 透水性舗装の場合は、透水性を高めるためにプライムコートを散布する。

〔問題 20〕 運動施設に関する記述のうち、**適当なもの**はどれか。

- (1) 硬式テニスコートの方位は、長軸方向を東西にとるのが望ましい。
- (2) 陸上競技場のフィールドの排水勾配は、中心から周辺に向かって均等にとる。
- (3) 硬式テニスコートの寸法の計測は、すべてコートラインの中心で行う。
- (4) 陸上競技場のトラックの許容傾斜度は、走る方向で 100 分の 1 以下とする。

〔問題 21〕 クレイ舗装の標準的な舗装構成の組合せとして、**適当なもの**はどれか。

(表層)	(中層)	(下層)
(1) 粘性土	—— 火山砂利	—— クラッシュラン
(2) 焼成土	—— 密粒度アスファルト混合物	—— クラッシュラン
(3) 粘性土	—— 密粒度アスファルト混合物	—— 火山砂利
(4) 焼成土	—— クラッシュラン	—— 火山砂利

〔問題 22〕 遊具に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) シーソーを設置する際、腕部の最大傾斜角度を水平に対して 30°とした。
- (2) 滑り台を設置する際、滑降部の傾斜角度を水平に対して 35°とした。
- (3) サンドピット型砂場を設置する際、砂の深さを 40 cm とした。
- (4) ぶらんこの周囲に境界柵を設置する際、設置面から横架材上面までの高さを 60 cm とした。

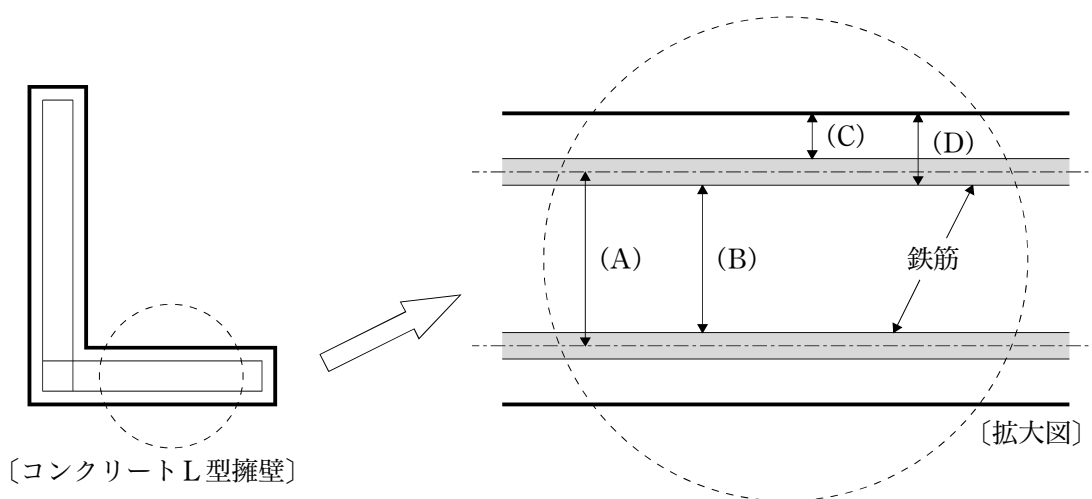
〔問題 23〕 敷地造成における盛土に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 盛土材料には、圧縮性が小さく、吸水による膨潤性の低い土を使用した。
- (2) タイヤローラを用いて粘性土の盛土を締め固める際、タイヤの接地圧を高くした。
- (3) 急斜面の盛土基礎地盤において、盛土の滑動を防ぐための段切りを行った。
- (4) 盛土高 2 m の法面勾配を 1 : 2.0 にするため、水平方向の長さを 4 m とした。

〔問題 24〕 コンクリートに関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) セメント，水，骨材以外の材料で，打込みを行うまでに必要に応じて加えるものを混和材料という。
- (2) まだ固まらない状態にあるコンクリートを，フレッシュコンクリートという。
- (3) AE 剤を用いて微細な空気泡を含ませたコンクリートを，AE コンクリートという。
- (4) セメント，細骨材，水を混合したものを，セメントペーストという。

〔問題 25〕 下図（断面図）は，コンクリート L 型擁壁の基礎底版内の配筋の一部を模式的に示したものであるが，図中の（A）～（D）について，「あき」と「かぶり」の位置を示す組合せとして，**適当なもの**はどれか。



（あき） （かぶり）

- (1) (A) —— (C)
- (2) (A) —— (D)
- (3) (B) —— (C)
- (4) (B) —— (D)

〔問題 26〕 園路の雨水排水工に関する記述のうち，**適当でないもの**はどれか。

- (1) 排水管への取付け管を，流下方向に 60 度の向きで取り付けた。
- (2) 取付け管の取付け位置を，排水管の中心線より下方に取り付けた。
- (3) 排水ますへの取付け管を，排水ますの底面から 18 cm の位置に取り付けた。
- (4) 上流管と下流管の管底差が 80 cm のとき，副管付きマンホールを使用して接合した。

〔問題 27〕 木造建築物に関する次の記述の（A），（B）に当てはまる語句の組合せとして，**適当なもの**はどれか。




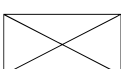
「木造建築物の軸組は，屋根・床などの荷重を支持し，縦方向の柱，横方向の（ A ），斜め方向の（ B ）などから構成されている。」

（A） （B）

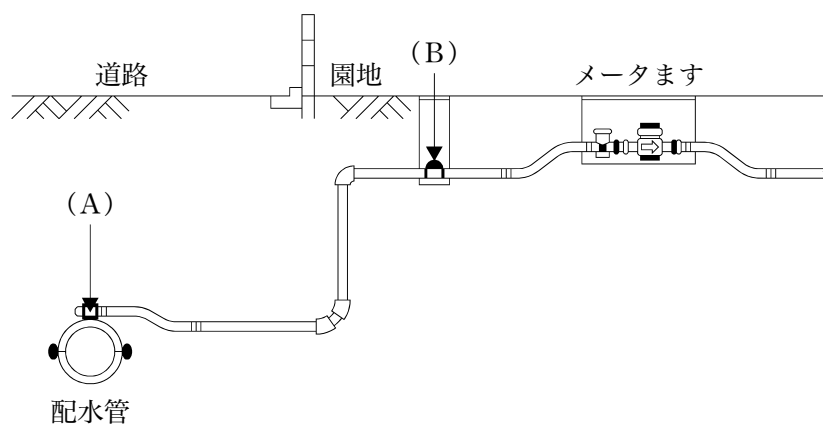
- (1) 棟木 —— 筋かい
- (2) 棟木 —— 大引
- (3) 梁 —— 筋かい
- (4) 梁 —— 大引

〔問題 28〕 電気設備設計図に用いられる一般的な「記号」と「名称」の組合せとして，**適当なもの**はどれか。

（記号） （名称）

- (1)  —— 接地極
- (2)  —— マンホール
- (3)  —— 電柱
- (4)  —— 配電盤

〔問題 29〕 下図に示す給水装置の（Ａ），（Ｂ）の名称の組合せとして、正しいものはどれか。



- | （Ａ） | （Ｂ） |
|---------|--------|
| （１） 分水栓 | —— 給水栓 |
| （２） 分水栓 | —— 止水栓 |
| （３） 給水栓 | —— 分水栓 |
| （４） 給水栓 | —— 散水栓 |

〔問題 30〕 「公共工事標準請負契約約款」における工事材料の品質に関する次の記述の（Ａ），（Ｂ）に当てはまる語句の組合せとして、適切なものはどれか。

「公共工事標準請負契約約款では、工事材料の品質については、（Ａ）に定めるところによる。（Ａ）にその品質が明示されていない場合にあっては、（Ｂ）の品質を有するものとする」とされている。」

- | （Ａ） | （Ｂ） |
|-----------|-------|
| （１） 設計図書 | —— 中等 |
| （２） 設計図書 | —— 上等 |
| （３） 施工計画書 | —— 中等 |
| （４） 施工計画書 | —— 上等 |

〔問題 31〕 次の（イ）～（ニ）のうち、施工計画に関する記述として、**適当なもの**の個数はどれか。

- （イ） 施工計画の検討は、現地の状況に熟知した現場技術者のみにたよることなく、全社的な技術水準で検討することが望ましい。
- （ロ） 施工計画の決定にあたっては、過去の実績や経験のみによらず、新たな工法や技術を採用することを検討することが望ましい。
- （ハ） 施工計画の決定は、あらかじめいくつかの対案を作り、各案の長所・短所を種々比較検討した上で行うことが望ましい。
- （ニ） 契約工期は、施工者にとって必ずしも最適工期であるとは限らないので、ときには当該工期の範囲内で、さらに経済的な工程を検討することが望ましい。

- (1) 1 個
- (2) 2 個
- (3) 3 個
- (4) 4 個

〔問題 32〕 次の（イ）～（ニ）のうち、施工計画に関する記述として、**適当でないもの**の個数はどれか。

- （イ） 環境保全計画では、施工に伴う公害問題や交通問題などについての対策を計画する。
- （ロ） 労務計画では、作業員の安全管理活動や安全教育の方法などを計画する。
- （ハ） 資材計画では、材料の必要数量、納期、調達先などを計画する。
- （ニ） 仮設備計画では、工事発生品の再利用方法などを計画する。

- (1) 1 個
- (2) 2 個
- (3) 3 個
- (4) 4 個

〔問題 33〕 工程・原価・品質の一般的な関係に関する次の記述の（A），（B）に当てはまる語句の組合せとして、**適当なもの**はどれか。

「一般に品質の良いものを得ようとするとき、原価は（ A ）なる。また、工程を極端に早めると、単位施工量当たりの原価は（ B ）なる。」

（A） （B）

- (1) 高く ——— 高く
- (2) 高く ——— 安く
- (3) 安く ——— 高く
- (4) 安く ——— 安く

〔問題 34〕 工程計画に関する次の算定式の（A），（B）に当てはまる語句の組合せとして、**適当なもの**はどれか。

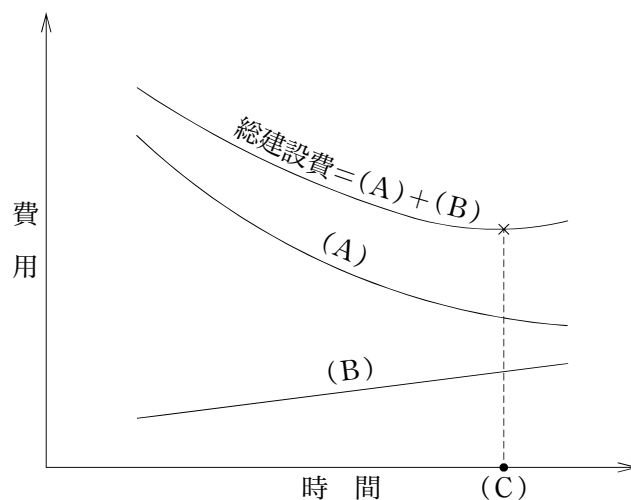
● 所要作業日数 = $\frac{\text{工 事 量}}{\text{(A)}}$

● （ A ） = （ B ） × 1日平均作業時間

（A） （B）

- (1) 1日平均施工量 ——— 1時間平均施工量
- (2) 1時間平均施工量 ——— 1日平均施工量
- (3) 1日平均施工量 ——— 1日当たり運転時間
- (4) 1時間平均運転時間 ——— 1時間平均施工量

〔問題 35〕 下図は、一般的な工期・建設費曲線を表したものであるが、図中の（A）～（C）に当てはまる語句の組合せとして、**適当なもの**はどれか。



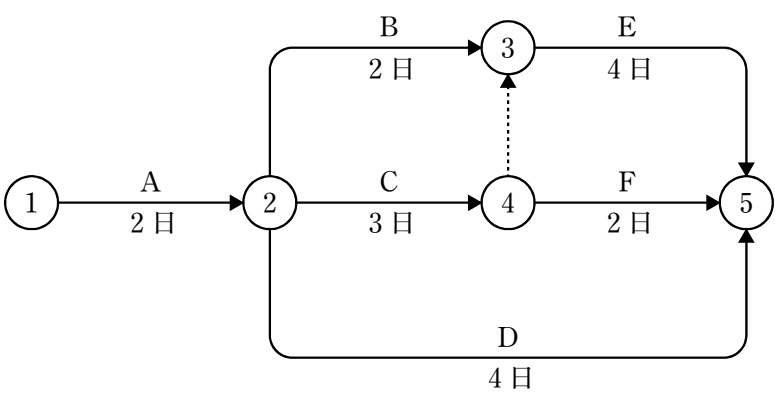
- | | (A) | (B) | (C) |
|-----|-----|-----|------|
| (1) | 間接費 | 直接費 | 最適工期 |
| (2) | 間接費 | 直接費 | 最大工期 |
| (3) | 直接費 | 間接費 | 最大工期 |
| (4) | 直接費 | 間接費 | 最適工期 |

〔問題 36〕 次の（イ）～（ニ）のうち、一般的な経済的工務計画の立案に関する記述として、**適当なもの**の個数はどれか。

- （イ） 全工事期間を通じて、稼働作業員が一時期に集中しないよう計画する。
- （ロ） 施工用機械設備は、できるだけ反復使用を避けるよう計画する。
- （ハ） 施工の段取り待ち、材料の搬入待ちの余裕をできるだけ確保するよう計画する。
- （ニ） 仮設備工事、現場諸経費が、合理的な範囲で最小限となるよう計画する。

- (1) 1個
- (2) 2個
- (3) 3個
- (4) 4個

〔問題 37〕 下図のネットワーク式工程表に示される工事において、クリティカルパスの日数として、正しいものはどれか。



- (1) 6 日
- (2) 7 日
- (3) 8 日
- (4) 9 日

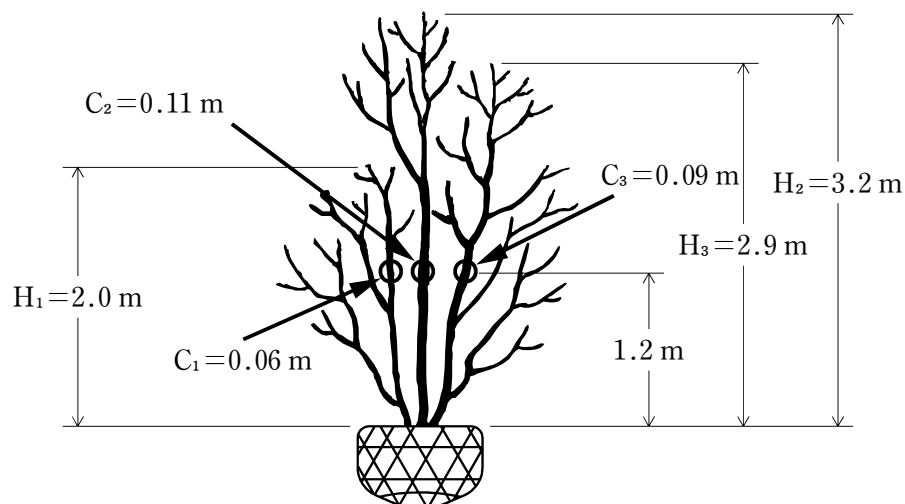
〔問題 38〕 次の（イ）～（ニ）のうち、設計寸法に対する出来形寸法として、規格値を満足しているものの個数はどれか。

	設計寸法 (mm)		規格値 (mm)		出来形寸法 (mm)
(イ)	1,000	—	—50	—	995
(ロ)	1,500	—	±30	—	1,550
(ハ)	2,500	—	—30	—	2,550
(ニ)	4,000	—	±50	—	4,025

- (1) 1 個
- (2) 2 個
- (3) 3 個
- (4) 4 個

〔問題 39〕 下図に示す樹木の「樹高 (H)」及び「幹周 (C)」について、「公共用緑化樹木等品質寸法規格基準 (案)」に基づく判定として、**正しいものはどれか。**

ただし設計値は、 $H = 3.0 \text{ m}$ 、 $C = 0.15 \text{ m}$ (3 本立) とする。



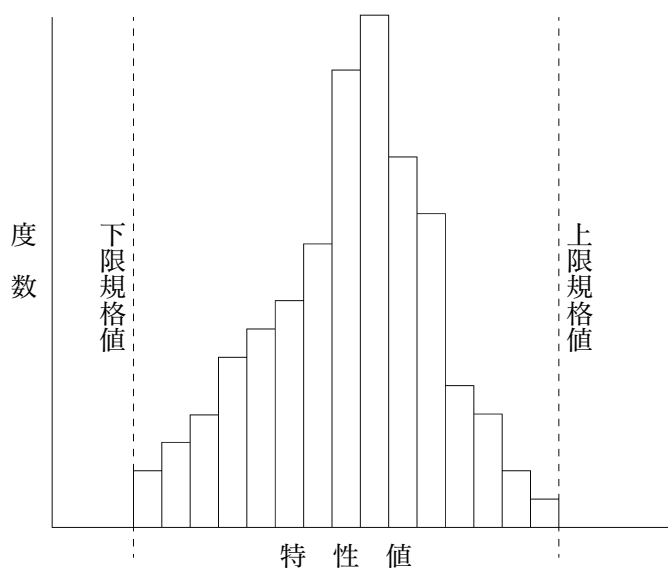
- (1) 「樹高」と「幹周」とともに基準を満たしている。
- (2) 「樹高」は基準を満たしているが、「幹周」は基準を満たしていない。
- (3) 「幹周」は基準を満たしているが、「樹高」は基準を満たしていない。
- (4) 「樹高」と「幹周」とともに基準を満たしていない。

〔問題 40〕 次の (イ) ～ (ニ) のうち、「公共用緑化樹木等品質寸法規格基準 (案)」におけるシバ類の品質規格に関する記述として、**適当なものの個数**はどれか。

- (イ) 雑草については、その混入がわずかであること。
- (ロ) 根は、平均にみずみずしく張っており、乾燥したり、土くずれのないもの。
- (ハ) ほふく茎は、四方に均等に配分され、節間が長く十分に伸長していること。
- (ニ) 病虫害については、病害 (病斑) がなく、害虫がいないこと。

- (1) 1 個
- (2) 2 個
- (3) 3 個
- (4) 4 個

〔問題 41〕 下図に示すヒストグラムの判断に関する記述のうち、最も適当なものはどれか。



- (1) 将来、少しの変動でも規格を外れるものがでる可能性があり、注意が必要である。
- (2) 上限規格値及び下限規格値を外れており、何らかの対処が必要である。
- (3) 上限規格値を外れるものがあり、平均値を小さい方にずらす必要がある。
- (4) 規格値に対するゆとりもあり、また、平均値が規格の中央付近にあり、良好である。

〔問題 42〕 「品質特性」とその「試験方法」に関する記述のうち、適当なものはどれか。

- (1) コンクリートの骨材の粒度を調べるために、すりへり試験を行った。
- (2) アスファルト舗装の安定度を調べるために、CBR 試験を行った。
- (3) 地盤の支持力値を調べるために、平板載荷試験を行った。
- (4) 路盤の締固め度を調べるために、針入度試験を行った。

〔問題 43〕 造園工事の安全管理に関する記述として、「労働安全衛生規則」上、適当でないものはどれか。

- (1) 昇降用のはしごの上端が作業床から 60 cm 突出するように設置した。
- (2) 高さ 3.0 m の高所作業を行ううえで本足場を設け、作業床として幅 20 cm の足場板を 2 列に配置し、その隙間を 2 cm とした。
- (3) 架設通路において、墜落の危険のある箇所には高さ 75 cm の丈夫な手すりを設置した。
- (4) 丸太足場を設けるにあたり、建地の間隔を 3.0 m、継手は重合せ継手とし、継手の接続部は 0.5 m を重ねて 2 箇所において緊結した。

〔問題 44〕 移動式クレーンの作業に関する記述のうち、「クレーン等安全規則」上、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 移動式クレーンの運転者に単独で作業を行わせる場合を除き、移動式クレーンの運転について一定の合図を定め、合図を行う者を指名して、その者に合図を行わせなければならない。
- (2) つり上げ荷重1t未満の移動式クレーンを用いた作業は、当該作業に関する安全のための特別の教育を受けた者が行うことができる。
- (3) 作業の性質上やむを得ない場合は、移動式クレーンのつり具に専用のとう乗設備を設け、墜落防止のための措置を講じたうえで、当該とう乗設備に労働者を乗せることができる。
- (4) 移動式クレーンによるつり上げ作業において、強風により作業の危険が予想されたため、クレーンのジブの位置を固定させて転倒を防止したうえで作業を行うことができる。

〔問題 45〕 次の（イ）～（ニ）のうち、工事現場で一般的に行う安全管理活動に関する記述として、**適当なものをすべて示したものはどれか。**

- （イ） 着工時に、安全についての各職員、下請の現場監督などの責任と権限を定め、明確にした。
- （ロ） 作業主任者や現場監督者等を中心として、作業員とともにツールボックス・ミーティングを実施した。
- （ハ） 施工計画を立てる際に、休憩所の設置等作業環境の整備について検討した。
- （ニ） 工事用設備、機械器具等の点検は、特に点検責任者を定めず各人が責任をもって行うこととした。

- (1) （ニ）
- (2) （イ），（ロ）
- (3) （ハ），（ニ）
- (4) （イ），（ロ），（ハ）

〔問題 46〕 「都市公園法」上、都市公園の占用が**認められないもの**はどれか。

- (1) 保育所
- (2) 電柱
- (3) 地下に設けられる公共駐車場
- (4) 高架の道路

〔問題 47〕 建設工事の請負契約に関する記述のうち、「建設業法」上、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 注文者は、建設工事の施工につき著しく不適當と認められる下請負人があるときは、その変更を請求することができる。
- (2) 主任技術者は、請負契約の履行に関することを確認するため、請負人に代わって一切の権限を行使することができる。
- (3) 建設業者は、注文者の書面による承諾を得ずにその請け負った建設工事を一括して他人に請け負わせてはならない。
- (4) 請負契約書には、工事内容、請負代金の額、工事着手の時期及び工事完成の時期などを記載しなければならない。

〔問題 48〕 次の（イ）～（ニ）のうち、建設工事における主任技術者の職務として、「建設業法」上、**規定されているものの個数**はどれか。

- （イ） 工事見積書を作成すること。
- （ロ） 施工計画書を作成すること。
- （ハ） 工事数量総括表を作成すること。
- （ニ） 施工に従事する者の技術上の指導監督を行うこと。

- (1) 1 個
- (2) 2 個
- (3) 3 個
- (4) 4 個

〔問題 49〕 「労働基準法」に関する記述のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 使用者は、労働者の国籍、信条、社会的身分を理由として、賃金、労働時間その他の労働条件について、差別的取扱いをしてはならない。
- (2) 使用者は、就業規則で定めた場合においては、労働者に対して休憩時間の自由な利用を制限することができる。
- (3) 出来高払制で使用する労働者については、使用者は、労働時間に応じ一定額の賃金の保障をしなければならない。
- (4) 未成年者の親権者又は後見人は、未成年者に代って労働契約を締結してはならない。

〔問題 50〕 「法律の名称」とその法律に基づく「地区又は地域の名称」の組合せとして、正しいものはどれか。

(法律の名称) (地区又は地域の名称)

- (1) 生産緑地法 ————— 景観地区
- (2) 自然環境保全法 ——— 風致地区
- (3) 自然公園法 ————— 特別緑地保全地区
- (4) 都市緑地法 ————— 緑化地域